

10.3
演説
中書ノ全量

ヲ以テ終了ヲ告ゲタルニ依リ関西労働同盟
會開催後ニ引續キ標記演説會ヲ全午
後六時三十分ヨリ大阪市中央公會堂
ニ於テ入場料金一紙ハ五十錢會費ハ三十
錢ヲ徴シ演説會ヲ開催セルカ入場者ハ
少數ノ智識階級ヲ交ハタル外労働組合員
大部分ヲ占メ其數約一千九百名ヲ算
セリ
司會者東忠繼ノ開會ノ辞ニ次ヲ辯士會
長鈴木文治及麻生久等ノ最高幹部
員ノ外十名ノ概要左ノ演説ヲ爲シ
ルカ場内ニハ及總同盟系組合員散在シ
多少抑揄セルモノアリ之ヲ爲メ聴衆ハ
總立トナリ喧騒スル等ノコトアリシモ別
段ノ事故ナクシテ午後十時三十分無事
閉會ヲ告ケタリ
尚朔四日午後六時三十分ヨリ神戸市

青年會館ニ於テ全趣旨ノ演説會ヲ開催
スル趣

演説の完

左記

浅原健三

宗教テモ哲學テモ法律テモ我々ノ役ニ立
ツモノテハナイ吾人ノ主義吾人ノ主張コソ
實現ニ役ニ立ツモノテアル我々カ十年一日
ノ如ク呼籲シ來タノハ要スルニパンノ問題
テアル此ノパンノ保證ナキ會議トカ議會
ナトハ何ニモナラナイト前提シ現在ノ制度
ニ嫌ラナイ我々労働者ハパンヲ歎セムトス
ルナラハ「マルクス」ノ云々如ク團結ニ俟タナ
ケレハナラン團結ノ威力ハ誠ニ偉大ナルモ
ノテアルコルクスノ曰ク勞資鬭争ニ依ツテ
世界ノ何事モ解決スルト大ニ然リ我々ハ子
孫ノ爲メニ永久安全ナル社會ヲ建設セ